

# 年度経営計画等に係る実績評価

平成25年度

岐阜市信用保証協会は、公的な『保証機関』として、中小企業者の健全な育成と資金調達の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献して参りました。

平成25年度の年度経営計画に対する実績評価を実施しましたので、以下の通り公表いたします。なお、実績評価に当たりましては、愛知大学鈴木誠教授、廣瀬英二弁護士により構成される『外部評価委員会』の意見・アドバイスを踏まえて作成しております。

## 1. 業務環境

### (1) 地域経済及び中小企業の動向

平成25年度の我が国の経済は、大企業を中心とした企業収益の改善の兆しや、設備投資の下げ止まりなど、企業の業況判断が改善に向かう中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しする局面もありましたが、年度末に向けては消費税引き上げに伴う駆け込み需要が強まるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

市内の中小企業の業況は、建設業を始め一部の業種において景気回復の兆しが見受けられる中で、年度当初懸念していた中小企業金融円滑化法終了による影響も殆どありませんでした。一方で、同業者間の競争の激化、円安の進行による仕入コストの増加など経営環境は依然厳しい状況が続きました。

### (2) 市内中小企業の資金繰り状況

平成25年度中の金融機関の貸出姿勢に大きな変化は生じておらず、市内中小企業者の資金繰りは厳しいながらも落ち着いた状況が続きました。当協会に於ける代位弁済は、前年度と比べ件数・金額共に減少しましたが、返済条件緩和の申し出は依然増加の傾向が続きました。

### (3) 市内中小企業の設備投資動向

設備投資を実施した企業の割合は下期にかけて減少し、実施しなかった企業の割合は8割弱に上り設備投資意欲は依然低調に推移しました。

### (4) 岐阜市を中心とした岐阜地区内の雇用情勢

平成26年3月の有効求人倍率(学卒を除きパートを含む。)は1.45倍(全国値は1.07倍)と、求人数が求職者数を上回る状況が続いており、雇用情勢は4年連続で改善されました。

## 2. 事業概況

市内中小企業者が引き続き厳しい経営環境にある中で、当協会の平成25年度の保証承諾は1,582件、25,978百万円、対前年度比77.6%（全国平均は同95.4%）で、対計画比73.4%となりました。また、保証債務残高は8,117件、93,656百万円、対前年度比93.1%（全国平均は同92.8%）で、対計画比90.9%となりました。

一方、代位弁済は144件、1,961百万円、対前年度比92.6%（全国平均は同83.7%）で、対計画比89.1%となりました。また、回収は883百万円、対前年度比174.8%（全国平均は同100.1%）で、対計画比147.2%となりました。

平成25年度の保証承諾等の主要業務数値は、以下の通りです。

項目	計画	実績	計画比
保証承諾	35,400百万円	25,978百万円(77.6%)	73.4%
保証債務残高	103,000百万円	93,656百万円(93.1%)	90.9%
代位弁済	2,200百万円	1,961百万円(92.6%)	89.1%
回収	600百万円	883百万円(174.8%)	147.2%

( )内の数値は対前年度比を示します。

### 3 . 決算概要

年度経営計画に基づき保証業務の適正な運営と経営の効率化に努めた結果、収支差額は232百万円の黒字計上となりました。

この収支差額の処理については、116百万円を収支差額変動準備金に、残額を基金準備金（基本財産）に繰入処理を行いました。

平成25年度の決算概要（収支計算書）は、以下の通りです。

経 常 収 入	1,129百万円
経 常 支 出	805百万円
経 常 収 支 差 額	324百万円
経 常 外 収 入	3,087百万円
経 常 外 支 出	3,228百万円
経 常 外 収 支 差 額	141百万円
制 度 改 革 促 進 基 金 取 崩 額	49百万円
当 期 収 支 差 額	232百万円

#### 4 . 重点課題への取り組み状況

平成 2 5 年度の重点課題として掲げた主な項目への取り組み状況は、以下の通りです。

##### ( 1 ) 適正な保証の推進

保証料の減免や保証料補填などにより、個々の中小企業者に最も有効な国や地方公共団体が実施する政策保証を推進するため、金融機関との勉強会・相談会を平成 2 5 年度中に 2 1 回開催し、借換保証、経営力強化保証を中心に、弾力的かつ積極的な推進・取り組みを行いました。その結果、借換保証の承諾は 5 1 6 件、対前年度比 1 1 2 . 2 %、金額 1 2 , 7 1 8 百万円、対前年度比 8 7 . 9 %、また、経営力強化保証の承諾は 1 7 7 件、金額 5 , 7 3 0 百万円 (平成 2 4 年度実績は 2 件、金額 5 5 百万円) と岐阜市内の中小企業者の資金繰り安定に大きく貢献することができました。また、新規保証キャンペーンを継続して実施した結果、1 8 9 先の新規先を保証承諾することができました。なお、保証利用企業者数は、平成 2 4 年度末時点で 4 , 5 3 9 企業であったのに対し、平成 2 5 年度末では 4 , 3 9 3 企業と 1 4 6 企業減少する結果となりました。

##### ( 2 ) 利便性の向上に向けた努力

昨年度に引続き、顧客サービス向上のスキルアップを目指して毎月 1 回課内研修を実施し、常に来協者目線での親切な対応を心掛けました。また、保証審査の効率化のため、電子メールを活用した事前打診に積極的に取り組むとともに、より迅速な審査に努めました。その結果、保証申し込みの処理に係る平均所要日数は 4 . 7 日となり、平成 2 4 年度の 5 . 0 日より 0 . 3 日所要日数を短縮することができました。

##### ( 3 ) 期中管理、期中支援業務の充実

「保証残高 1 0 0 百万円以上、CRD 区分 1 ~ 3 または返済緩和のある先」を大口重点先として金融機関に対しモニタリングを実施し、全 5 2 先の実態把握に努めました。

岐阜県中小企業診断士協会と連携し、「保証残高 5 0 百万円以上の先」を対象に企業診断業務を実施していますが、今年度

は2先（前年実績3先）の企業診断を実施しました。

#### （４）金融機関との連携強化

延滞初期段階で金融機関に対し正常化等に向けた適切な対応を要請しました。また、正常化できない先に対する事故報告の提出管理を徹底するとともに、事故報告先に対しては、毎月金融機関に状況を確認するなど、必要に応じて中小企業者や連帯保証人と面談し、実態の把握に努めつつ、約定弁済額の軽減や期間延長などの取り組みを行いました。その結果、条件変更の承諾は2,121件、対前年度比101.6%、金額23,975百万円、対前年度比110.0%となりました。そのうち返済方法の変更案件は1,852件、対前年度比105.2%、金額23,285百万円、対前年度比112.9%となり、平成25年度の事故残高は、236件、1,731百万円と、前年度と比べ件数で17件、金額で284百万円減少しました。

また、平成25年度の代位弁済は2,200百万円の計画額に対し1,961百万円となり、計画内に収めることができました。

#### （５）中小企業支援体制の具現化

岐阜企業力強化連携会議の全体会議を1回開催し、また、バンクミーティングに19回出席するなど、中小企業支援に向け金融機関、経営支援機関、再生支援機関等との情報交換を行いました。その他、中小企業基盤整備機構の窓口相談に当協会職員が同席し（事例1件）中小企業支援体制の実現に努めました。なお、保証申込、条件変更申込における認定支援機関による計画策定支援事業先は5先、条件変更申込における中小企業再生支援協議会の活用先は18先でした。

#### （６）定期弁済管理の徹底、定期弁済額の増額

定期弁済が減少傾向にある中、定期弁済管理を徹底するため定期弁済先のシステム登録を行い、入金情報を活用することで定期弁済の督促に役立てました。その結果、定期弁済額は81百万円、対前年度比95.4%となりました。なお、費用回収分を含む定期弁済の総額では88百万円、対前年度比98.7%とほぼ横ばいの状況となりました。

( 7 ) 不定期回収 ( スポット回収 ) の増額

一部弁済による保証債務免除制度を活用した回収については、平成 2 5 年度には条件に該当する案件がありませんでしたが、主に定期弁済履行中の先に対して一括弁済交渉を行いました。その結果、不定期回収は 2 0 2 百万円 ( 1 1 7 百万円の大口回収を含む )、対前年度比 3 8 2 . 8 % の回収実績を挙げることができました。

( 8 ) 担保付債権の回収を促進

担保付債権については、代位弁済後すみやかに競売申立を行い、任意処分と並行して担保処分を進めました。その結果、平成 2 5 年度の担保付債権からの回収は、合計 5 3 9 百万円 ( 任意処分 2 0 4 百万円、競売配当 3 3 5 百万円 )、対前年度比 1 9 0 . 5 % の実績を挙げることができました。

( 9 ) コンプライアンスの強化

コンプライアンス課内研修、コンプライアンス担当者会議、コンプライアンス委員会の定期開催など、コンプライアンス・プログラムを確実に実施し、役職員のコンプライアンスに対する意識の向上を図りました。

また、役職員のコンプライアンス態勢の充実と強化を図るため、外部講師を招聘し『反社会的勢力との対応マニュアルに基づいた実践的対応策について』( 6 月 )、『好感のもたれる対応マナーについて』( 1 0 月 ) の全体研修を実施した他、職員の実体験を基にした『反社会的勢力との対応について』( 1 月 ) の全体研修を実施しました。

( 1 0 ) 内部監査・検査の充実

コンプライアンスの浸透、特に法令及び業務上の諸規程等の遵守状況に主眼を置き定時検査を実施するとともに、定時検査のフォローアップのため改善対策確認検査を実施し事務の適正化を図りました。



## 5 . 外部評価委員会の意見等

岐阜市内中小企業を取り巻く環境が依然として厳しい状況にある中、岐阜市信用保証協会は、国や地方公共団体の施策に即応し、中小企業者の資金ニーズに即した借換保証や経営力強化保証に加え、保証条件の変更等にも引き続き積極的に対応するなど、中小企業金融の円滑化に貢献しました。

### 〔保証業務〕

保証承諾額、保証債務残高ともに計画を達成できなかったものの、借換保証を中心とした政策保証の積極的な推進とともに、返済猶予等の申し出に柔軟に応じるなど、厳しい経営環境が続く中小企業の資金繰り安定化に寄与したと考えます。

今後も中小企業の実態を十分把握する中で、金融の円滑化と期中管理・支援等には引き続き取り組んでください。

### 〔代位弁済〕

中小企業金融円滑化法終了後も、条件変更に取り組むなど、期中支援を強化したことにより代位弁済が計画を下回る結果となったことは評価できますが、前年度対比の減少率を見ても全国平均値を下回っており、引き続き金融機関との連携を密にし、中小企業者の現況を的確に把握するとともに、経営改善・事業再生の促進にも一層力を入れ、事故報告及び代位弁済の抑制に努めてください。

### 〔求償権の回収〕

回収は無担保求償権が増加し、不動産担保や連帯保証人の徴求が益々困難になっている厳しい環境下において、回収方針の早期策定、古い求償権の管理強化、サービスの有効活用などに注力し、計画を大幅に上回る回収実績を上げることができたことは評価できます。回収財源の確保が一段と厳しさを増す中で、これからも地道な調査・督促、サービスの有効利用等、回収の最大化に向け努力してください。

〔コンプライアンス〕

コンプライアンス・プログラムの確実な実施や、全体研修を通じ、役職員の意識は高まっていると判断できます。今後も法令やルールを遵守することは勿論、保証協会の社会的使命を深く認識し、健全な業務運営を通じて信頼の維持に努めてください。

〔協会収支〕

保証承諾の減少や保証債務残高の減少により収支を押し下げる要因はありましたが、代位弁済の抑制、回収の増加などの要因に加え、経費節減や資金運用などにより、計画を大幅に上回る収支差額の計上となりました。今後もより一層経費節減を図り協会収支・経営基盤の安定化に努めてください。